

大阪府立病院機構 平成25事業年度業務実績の自己評価判断理由書

参考資料 2

平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																													
第1 府民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標																																	
1 高度専門医療の提供・医療水準の向上																																	
(1) 医療施策推進における役割の発揮																																	
①② 各病院の役割に応じた医療施策の実施及び診療機能の充実																																	
ア 急性期・総合医療センター	1		IV																														
<ul style="list-style-type: none"> 基幹災害医療センターとして府域の災害拠点病院への支援機能を果たす。 24時間体制で二次救急患者を含めた救命救急部門の新規入院患者の受入れを拡大する。 	報告書頁5～8	<ul style="list-style-type: none"> 1月には、医療部門で実践的な訓練を企画し、南部防災拠点、八尾SCU、大阪府りんくう総合医療センターと大阪DMAT、他府県DMAT（京都、滋賀）と協働し、「大阪府・市町村合同地震・津波対策訓練」を実施した。自衛隊ヘリ・ドクターヘリ、消防ヘリを運用して患者搬送を実施し、並行して患者受入れ訓練を行った。 8月に政府の総合防災訓練と並行して、災害時無線患者管理システムを使用したDMAT受入れ訓練を行った。初の試みとして、休日の職員参集や、津波を想定した本館電源停止下における病棟患者避難訓練等を実施した。 阪南6区の消防署長を訪問し、消防職員を招いた病院見学を実施し、高度救命救急センターの機能について認識していただいた結果、救急搬送患者数が前年度実績より全般的に増加した。特に脳卒中や心疾患による重症度の高い三次救急患者の搬送が前年度から増加し、SCU・CCUの入院患者数の増加につながった。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成25年度目標</th> <th>平成25年度実績</th> <th>目標差 前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車搬入患者数(人)</td> <td>4,954</td> <td>4,400</td> <td>5,936</td> <td>1,536 982</td> </tr> <tr> <td>三次救急新入院患者数(人)</td> <td>1,828</td> <td>—</td> <td>1,993</td> <td>— 165</td> </tr> <tr> <td>T C U (18床) 新入院患者数(人)</td> <td>952</td> <td>1,050</td> <td>1,041</td> <td>— △ 9 89</td> </tr> <tr> <td>S C U (6床) 新入院患者数(人)</td> <td>428</td> <td>400</td> <td>453</td> <td>— 53 25</td> </tr> <tr> <td>C C U (6床) 新入院患者数(人)</td> <td>468</td> <td>390</td> <td>499</td> <td>— 109 31</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差 前年度差	救急車搬入患者数(人)	4,954	4,400	5,936	1,536 982	三次救急新入院患者数(人)	1,828	—	1,993	— 165	T C U (18床) 新入院患者数(人)	952	1,050	1,041	— △ 9 89	S C U (6床) 新入院患者数(人)	428	400	453	— 53 25	C C U (6床) 新入院患者数(人)	468	390	499	— 109 31	<ul style="list-style-type: none"> 基幹災害医療センターとして、府内関係機関のみならず、他府県や政府と協働で訓練を実施した。地震・津波対策訓練や、初の試みとなる津波を想定した本館電源停止下における病棟患者避難訓練等を実施するなど、より実践的な訓練を企画・実施し、災害時対応を強化した。 救急搬送患者の受入れは消防署からの要請によるものため受動的になりがちであるが、消防署長訪問や消防署職員を招いた病院見学会の実施など能動的にセンター機能のPRに努めた結果、センターの機能が周知でき、救急搬送患者数が前年度実績より982人（19.8%）増加した。（前年度4,954人⇒25年度5,936人） SCU・CCU入院患者数など高度専門医療分野の項目についても、概ね目標・前年度実績を上回る水準で実施した。 これらの取組みの実績を踏まえ、全体として急性期から回復期まで専門的な医療を前年度を上回る水準で提供し、府域に貢献できたことを高く評価し、IV評価とした。
区分	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差 前年度差																													
救急車搬入患者数(人)	4,954	4,400	5,936	1,536 982																													
三次救急新入院患者数(人)	1,828	—	1,993	— 165																													
T C U (18床) 新入院患者数(人)	952	1,050	1,041	— △ 9 89																													
S C U (6床) 新入院患者数(人)	428	400	453	— 53 25																													
C C U (6床) 新入院患者数(人)	468	390	499	— 109 31																													

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																				
	<p>イ 呼吸器・アレルギー医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性期の集中治療から慢性期の治療とケア、呼吸リハ、在宅での呼吸ケアまで包括的な診療を行うため呼吸ケアセンターにおいて、専門医療を提供する。 悪性腫瘍に対し診断から集学的治療、緩和ケアなどの総合的な医療を行うため腫瘍センターにおいて、専門医療を提供する。 南河内医療圏において白内障手術等地域の医療ニーズにも応える。 	<p>2 報告書頁 9 ～ 11</p>	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸ケアセンターにおいて、在宅酸素療法導入患者に対するリハビリ介入など、慢性呼吸不全に対する円滑な在宅移行を見据えたきめ細かい専門医療を提供した。（呼吸器リハビリテーション実施件数 25年度：9,689件 前年度：6,853件） 腫瘍センターにおいては、がん治療認定医かつ婦人科学会認定医である産婦人科医を1人招聘し、婦人科腫瘍への専門医療提供体制を強化した。（産婦人科手術件数 25年度：587件 前年度:558件） <table border="1" data-bbox="786 456 1305 600"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度 実績</th> <th>平成25年度 目標</th> <th>平成25年度 実績</th> <th>目標差 前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肺がん退院患者数（人）</td> <td>1,323</td> <td>—</td> <td>1,380</td> <td>— 57</td> </tr> <tr> <td>肺がん新入院患者数（人）</td> <td>1,131</td> <td>1,300</td> <td>1,341</td> <td>— 41 210</td> </tr> <tr> <td>肺がん手術件数（件）</td> <td>140</td> <td>140</td> <td>167</td> <td>— 27 27</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 眼科において手術用顕微鏡を更新したことにより白内障手術件数が増加し、南河内医療圏の地域医療の充実に貢献した。（25年度：690件、前年度：548件） 	区分	平成24年度 実績	平成25年度 目標	平成25年度 実績	目標差 前年度差	肺がん退院患者数（人）	1,323	—	1,380	— 57	肺がん新入院患者数（人）	1,131	1,300	1,341	— 41 210	肺がん手術件数（件）	140	140	167	— 27 27	<p>Ⅲ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、呼吸ケアセンターにおける慢性呼吸不全患者等への対応をはじめ、腫瘍センターの体制強化、地域医療の充実に係る取組みなど、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。
区分	平成24年度 実績	平成25年度 目標	平成25年度 実績	目標差 前年度差																					
肺がん退院患者数（人）	1,323	—	1,380	— 57																					
肺がん新入院患者数（人）	1,131	1,300	1,341	— 41 210																					
肺がん手術件数（件）	140	140	167	— 27 27																					

平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																																																			
<p>ウ 精神医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 24時間体制で緊急措置入院の受け入れを行う。 患者が地域で自立して生活できるよう関係機関と連携した訪問看護やアウトリーチを実施する。 発達障がい確定診断外来の充実を図り、待機患児数を早期に減少させる。 医療観察法病棟（33床）について近畿厚生局・他府県の指定医療機関と連携し患者を受け入れる。 	<p>3 報告書頁11～13</p>	<p>緊急救急病棟において、措置入院・緊急措置入院の受け入れのため、毎日1床以上の保護室ベッドの確保を行い、精神疾患患者の緊急受け入れ要請に着実に対応した。</p> <table border="1" data-bbox="786 304 1361 400"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成25年度実績</th> <th>前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">措置患者等の受け入れ件数(件)</td> <td>措置入院</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>△ 6</td> </tr> <tr> <td>緊急措置入院</td> <td>50</td> <td>51</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>応急入院</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>従来より試行的に実施していた「枚方独自のアウトリーチ」の確立に向けて、保健所・市役所・地域包括支援センターと連携し、地域で生活する治療中断者や未受診患者に対し、訪問看護・訪問診療を行い、利用者の精神医療センターへの受診に繋げた。（新規患者訪問実績：上半期5件、下半期3件）</p> <p>多職種による訪問看護については、限られた人員体制の中でも積極的に実施し、ほぼ前年度と同等の実績となった。</p> <table border="1" data-bbox="786 676 1317 762"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成25年度目標</th> <th>平成25年度実績</th> <th>目標差</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th>前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問看護実施件数(件)</td> <td>4,977</td> <td>4,750</td> <td>4,959</td> <td>209 △ 18</td> </tr> </tbody> </table> <p>医師の休職・退職等により確定診断枠を増設することが困難であったため、確定診断件数は前年度より減少し、確定診断待機患児数については前年度より増加した。なお、今後は他府県在住者に医師の紹介状の提出を求めると、府内在住者の待機期間が長期化しないよう配慮する。</p> <table border="1" data-bbox="786 959 1317 1098"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成25年度目標</th> <th>平成25年度実績</th> <th>目標差</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th>前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発達障がい確定診断件数(件)</td> <td>345</td> <td>400</td> <td>284</td> <td>△ 116 △ 61</td> </tr> <tr> <td>発達障がい確定診断待機患児数</td> <td>132</td> <td>40</td> <td>148</td> <td>108 16</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療観察法病棟の増床に備えた実地研修等を生かして31名の新規患者に適切に対応した。</p>	区分		平成24年度実績	平成25年度実績	前年度差	措置患者等の受け入れ件数(件)	措置入院	38	32	△ 6	緊急措置入院	50	51	1	応急入院	3	3	0	区分	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差				前年度差	訪問看護実施件数(件)	4,977	4,750	4,959	209 △ 18	区分	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差				前年度差	発達障がい確定診断件数(件)	345	400	284	△ 116 △ 61	発達障がい確定診断待機患児数	132	40	148	108 16	<p>Ⅲ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府の精神科の中核的機能を担う病院として、常時措置入院・緊急措置入院の受け入れに対応できる体制を確保した。 訪問看護については限られた人員体制の中で目標を上回り、ほぼ前年度並みの実績となり、地域の精神科医療に貢献した。 発達障がいの確定診断件数実績は284件であり、目標を116件下回り、前年度実績を61件下回った。また、確定診断待機患児数を減少させるという計画に対し、目標比較で108人、前年度実績比較で16人の増となり未達成であった。これは、医師の休職・退職等により確定診断枠を増設することが困難であったことによるものである。 医療観察法病棟については増床後も、患者の受け入れ増に適切に対応することができた。 これらの取組みを踏まえて、一部未達成の要素を含むものの、新病院移転後も大阪府の精神科医療の中核を担う病院として、緊急・救急医療から患者の退院までの総合的な医療を提供したことについて、Ⅲ評価とした。
区分		平成24年度実績	平成25年度実績	前年度差																																																			
措置患者等の受け入れ件数(件)	措置入院	38	32	△ 6																																																			
	緊急措置入院	50	51	1																																																			
	応急入院	3	3	0																																																			
区分	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差																																																			
				前年度差																																																			
訪問看護実施件数(件)	4,977	4,750	4,959	209 △ 18																																																			
区分	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差																																																			
				前年度差																																																			
発達障がい確定診断件数(件)	345	400	284	△ 116 △ 61																																																			
発達障がい確定診断待機患児数	132	40	148	108 16																																																			

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																																																		
	<p>工 成人病センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 難治性、進行性、希少がん患者に対し手術、放射線治療、化学療法を組み合わせた集学的治療を実施する。 循環器疾患を有するがん患者に対して、治療前後の合併症に対応した集学的治療を実施する。 新たにIMRT（強度変調放射線治療）のひとつであるVMAT（容積強度変調回転照射治療）などの高度な治療に取り組む。 	<p>4 報告書頁 14 ～ 16</p>	<ul style="list-style-type: none"> 患者一人一人の症状に最適な治療法を選択し集学的な治療に取り組んだ。 <table border="1" data-bbox="786 272 1305 539"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成25年度目標</th> <th>平成25年度実績</th> <th>目標差 前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん新入院患者数（人）</td> <td>8,300</td> <td>8,500</td> <td>8,866</td> <td>366 566</td> </tr> <tr> <td>手術実施件数（件）</td> <td>2,849</td> <td>2,850</td> <td>2,875</td> <td>25 26</td> </tr> <tr> <td>難治性がん手術件数（件）</td> <td>819</td> <td>810</td> <td>878</td> <td>68 59</td> </tr> <tr> <td>ESD内視鏡的粘膜下層剥離術</td> <td>435</td> <td>530</td> <td>519</td> <td>△ 11 84</td> </tr> <tr> <td>EMR内視鏡的粘膜切除術</td> <td>559</td> <td>520</td> <td>705</td> <td>185 146</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法室の化学療法件数</td> <td>53.0</td> <td>53.4</td> <td>53.8</td> <td>0.4 0.8</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 抗がん剤による心毒性検出のための検査をはじめ、心臓CT検査、心臓カテーテル検査等を実施した。また、冠血流予備量比測定(FFR)や心筋生検を25年度より新たに実施するなど、循環器内科での検査の充実に努めた。 放射線治療については、従来より実施していたIMRTをVMATに移行し、治療の高速化、高機能化を図った結果、件数が大幅に増加した。 <table border="1" data-bbox="786 786 1317 887"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成25年度目標</th> <th>平成25年度実績</th> <th>目標差 前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線治療件数（件）</td> <td>26,653</td> <td>27,000</td> <td>28,192</td> <td>1,192 1,539</td> </tr> <tr> <td>うちIMRT（件） （強度変調放射線治療）</td> <td>6,898</td> <td>7,000</td> <td>8,660</td> <td>1,660 1,762</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差 前年度差	がん新入院患者数（人）	8,300	8,500	8,866	366 566	手術実施件数（件）	2,849	2,850	2,875	25 26	難治性がん手術件数（件）	819	810	878	68 59	ESD内視鏡的粘膜下層剥離術	435	530	519	△ 11 84	EMR内視鏡的粘膜切除術	559	520	705	185 146	外来化学療法室の化学療法件数	53.0	53.4	53.8	0.4 0.8	区分	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差 前年度差	放射線治療件数（件）	26,653	27,000	28,192	1,192 1,539	うちIMRT（件） （強度変調放射線治療）	6,898	7,000	8,660	1,660 1,762	<p>Ⅲ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、難治性がん・希少がん等に対する内視鏡手術や外来化学療法、放射線治療など患者の病態に合った集学的治療の実施や、循環器合併症への対応強化など、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。
区分	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差 前年度差																																																			
がん新入院患者数（人）	8,300	8,500	8,866	366 566																																																			
手術実施件数（件）	2,849	2,850	2,875	25 26																																																			
難治性がん手術件数（件）	819	810	878	68 59																																																			
ESD内視鏡的粘膜下層剥離術	435	530	519	△ 11 84																																																			
EMR内視鏡的粘膜切除術	559	520	705	185 146																																																			
外来化学療法室の化学療法件数	53.0	53.4	53.8	0.4 0.8																																																			
区分	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差 前年度差																																																			
放射線治療件数（件）	26,653	27,000	28,192	1,192 1,539																																																			
うちIMRT（件） （強度変調放射線治療）	6,898	7,000	8,660	1,660 1,762																																																			

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由															
	<p>オ 母子保健総合医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 産婦人科診療相互援助システム（OGCS）、新生児診療相互援助システム（NMCS）の基幹病院として、夜間の重症妊婦等の緊急搬送を迅速にするための調整機能の役割を果たす。 小児がんをはじめとする難治症例の新規治療法開発や患者の長期フォローアップ体制の整備など、小児がん拠点病院としての役割を果たす。 高度専門医療を受けた小児・家族に対する心のケアの充実を図る。 	<p>5 報告書頁 16 ～ 18</p>	<ul style="list-style-type: none"> 産婦人科診療相互援助システム（OGCS）、新生児診療相互援助システム（NMCS）の基幹病院として、府域における安定的な周産期医療を提供した。 <table border="1" data-bbox="779 292 1361 387"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成25年度目標</th> <th>平成25年度実績</th> <th>目標差 前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新生児緊急搬送件数（件）</td> <td>226</td> <td>—</td> <td>275</td> <td>— 49</td> </tr> <tr> <td>母体緊急搬送件数（件）</td> <td>141</td> <td>150</td> <td>189</td> <td>— 39 48</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 小児がん拠点病院として、在宅療養児や家族への長期フォロー対応について心理士とMSWを含めたチーム体制の構築を図るとともに、地域の小児がん関係医療機関を集め、6月に研修会を開催した。また、近畿ブロックの地域計画書策定にあたっては、拠点病院5施設のまとめ役を果たした。 平成25年4月8日より専任看護師を1名配置し小児がん相談を含む「患者相談窓口」を開設し、小児がん相談件数は30件であった。 ホスピタル・プレイ士による患児への関わりを積極的に実施し、高度専門医療を受けた患児への心のケアの充実にも努めた。（平成25年度：5,917件前年度：4,449件） 	区分	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差 前年度差	新生児緊急搬送件数（件）	226	—	275	— 49	母体緊急搬送件数（件）	141	150	189	— 39 48	<p>Ⅲ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、周産期医療、小児がん拠点病院としての取組みや近畿圏の拠点病院のまとめ役としての取組み、患児の心のケアの充実など、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。
区分	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差 前年度差																
新生児緊急搬送件数（件）	226	—	275	— 49																
母体緊急搬送件数（件）	141	150	189	— 39 48																
	<p>カ 国際人材交流の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人病センターでは国際シンポジウムを開催し、母子保健総合医療センターでは海外からの医療スタッフの研修の受入れを行う。 	<p>6 報告書頁 18</p>	<ul style="list-style-type: none"> 成人病センターにおいては、世界対がんデーに合わせて第4回大阪府立成人病センター国際シンポジウムを開催した。 母子保健総合医療センターにおいては、JICA関西より「アフリカ新生児・小児保健医療研修（7か国10人）」や、「MDG（国連ミレニアム開発目標）達成に向けた小児科医手術能力向上コース」（ハングラデシュより2人）を受託し、海外からの医療スタッフの研修を行った。 	<p>Ⅲ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、海外医療スタッフの受入れについて年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。 															
<p>③</p>	<p>新しい治療法の開発・研究等</p> <ul style="list-style-type: none"> 各病院の特徴を生かした高度専門医療分野の臨床研究を実施する。 成人病センターにおいて、「がん組織標本・がん組織培養バンク」の構築に向けさらなる検体集積等を行う。 母子保健総合医療センターにおいて、原因を特定できない症例等について病態解明に取り組む。 母子保健総合医療センターにおける企画調査部において、妊娠・母子保健分野における疫学調査等の研究に継続して取り組む。 	<p>7 報告書頁 19 ～ 20</p>	<ul style="list-style-type: none"> 急性期・総合医療センターにおける先進的臨床研究に対するの寄附金受け入れ体制の構築、精神医療センターにおける「臨床開発・研修センター」を中心とした新規治療法の開発等に取り組んだ。 がん組織標本（Tissue array）については、肺腫瘍、卵巣・子宮腫瘍、尿路系腫瘍、消化器系腫瘍、口腔領域腫瘍のライブラリーが完成した。また、がんを中心とした凍結標本500例（累計1,952例）を作成した。 母子Cにおいて、原因不明の先天性等小児疾患に対して診断・解析を行う「小児疾患解析・総合診断支援センター機能」の充実を図り、医療機関等の依頼に応じて1,001件の診断・解析を行った。（前年度：808件） エコチル調査（子どもの健康と環境に関する全国調査）のサブユニットセンターとして、環境省から事業委託を受け、大阪南部8市町在住の妊婦を対象に調査事業を実施し、目標値（8000組）を達成し、全国の疫学調査に貢献した。 「にんしんSOS」の平成25年相談件数については、2,317件であり前年度1,062件を大幅に上回る相談件数となった。 	<p>Ⅲ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、各病院における臨床研究体制の実施や、成人病センター・母子保健総合医療センターにおける研究所、成人病センターにおけるがん予防情報センター、母子保健総合医療センターにおける調査部の取組みについて、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。 															

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																																			
④	治験の推進 <ul style="list-style-type: none"> 治験について5病院間で相互調整を進め、共同治験窓口を運営する。 各病院の治験に必要な予算の拡充を行い、治験実施の活性化を図る。 	8 報告書頁 21 ～ 22	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府立病院機構治験ネットワークに係る会議を開催し、共同IRBのあり方等について協議を行うなど、企業が利用しやすい共同治験窓口の運用を図った。 各病院の治験に必要な予算については、25年度より治験等収入の使用枠拡大を図り、治験実施活性化を図った。 <table border="1" data-bbox="817 391 1406 547"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成25年度実績</th> <th>前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期C</td> <td>治験実施件数</td> <td>47</td> <td>53</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>呼吸器C</td> <td>治験実施件数</td> <td>25</td> <td>27</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>精神C</td> <td>治験実施件数</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>成人病C</td> <td>治験実施件数</td> <td>81</td> <td>101</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>母子C</td> <td>治験実施件数</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>法人全体</td> <td>治験実施件数</td> <td>168</td> <td>200</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	区分	平成24年度実績	平成25年度実績	前年度差	急性期C	治験実施件数	47	53	6	呼吸器C	治験実施件数	25	27	2	精神C	治験実施件数	2	5	3	成人病C	治験実施件数	81	101	20	母子C	治験実施件数	13	14	1	法人全体	治験実施件数	168	200	32	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、各病院の治験実施状況について年度計画の項目を達成したことについて、Ⅲ評価とした。
病院名	区分	平成24年度実績	平成25年度実績	前年度差																																				
急性期C	治験実施件数	47	53	6																																				
呼吸器C	治験実施件数	25	27	2																																				
精神C	治験実施件数	2	5	3																																				
成人病C	治験実施件数	81	101	20																																				
母子C	治験実施件数	13	14	1																																				
法人全体	治験実施件数	168	200	32																																				
⑤	災害時における医療協力等 <ul style="list-style-type: none"> 災害時、基幹災害医療センター及び特定診療災害医療センターとして患者を受け入れる。 急性期・総合医療センター以外の4病院は、職員への連絡体制、配備計画等の整備に努める。 各病院においては、新型インフルエンザやその他の感染症の集団発生時の受入れ体制の整備を進める。 	9 報告書頁 23 ～ 24	<ul style="list-style-type: none"> NBCテロ研修（全国のDMATが参加）や災害医療研修（府内のDMATが参加）などを実施した。 急性期・総合医療センター以外の4病院のうち、呼吸器・アレルギー医療センター、成人病センター、母子保健総合医療センターは、大規模災害発生時の対応として医師、看護師、放射線技師、事務などによるチームを編成し、担当職員等に対しマニュアル等により周知徹底を図るとともに、マニュアルの見直し・改訂等も実施した。また、精神医療センターにおいては、災害時に対応できるよう、災害時連絡網を策定した。 各病院においては院内の感染症対応マニュアル等の策定・見直しを行うとともに、急性期・総合医療センター及び呼吸器・アレルギー医療センターにおいて感染症蔓延期における特別診療室を設置するなど、各病院の専門的機能に応じた感染症の拡大防止策を整備した。 	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、急性期・総合医療センターをはじめとした災害時の体制整備や感染症発生時の対応など、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。 																																			

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																																																																																				
(2)	診療機能充実のための基礎づくり																																																																																								
①	優れた医療スタッフの確保及び育成																																																																																								
	<p data-bbox="264 244 421 268">i 人材の確保</p> <p data-bbox="264 268 353 292">ア 医師</p> <ul data-bbox="264 292 678 355" style="list-style-type: none"> 医師の人材確保について、大学など関係機関への働きかけ、HP公募により医師の確保に努める。 <p data-bbox="264 563 376 587">イ 看護師</p> <ul data-bbox="264 587 678 651" style="list-style-type: none"> 看護師募集パンフレットやHPの充実、民間広報媒体の活用など、効果的な採用PRに努める。 <p data-bbox="264 826 443 850">ウ 医療技術職員</p> <ul data-bbox="264 850 678 914" style="list-style-type: none"> 能力が高い人材を確保できるよう、受験資格、採用方法や時期等を工夫し、計画的な人材確保に努める。 <p data-bbox="264 1121 465 1145">ii 職務能力の向上</p> <ul data-bbox="264 1145 678 1273" style="list-style-type: none"> 臨床研修医及びレジデントに充実した研修の提供、キャリアセンターの活用など職務能力向上に努める。 資格取得者は、その知識・看護技術等を活用し、院内外で講師等として指導を行う。 	<p data-bbox="712 244 745 379">10 報告 書頁 25 ～ 27</p>	<ul data-bbox="768 292 1469 355" style="list-style-type: none"> 各病院において、大学病院等に積極的な働きかけを行うなど、医師やレジデントの確保に努めた。全国的に医師が不足する中、5病院全体の現員数は14人増加した。 <table border="1" data-bbox="790 379 1317 539"> <caption>医師の現員数（単位：人）</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成25年3月1日時点 現員数</th> <th>平成26年3月1日時点 現員数</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>急性期C</td><td>145</td><td>152</td><td>7</td></tr> <tr><td>呼吸器C</td><td>64</td><td>62</td><td>△ 2</td></tr> <tr><td>精神C</td><td>23</td><td>27</td><td>4</td></tr> <tr><td>成人病C</td><td>114</td><td>118</td><td>4</td></tr> <tr><td>母子C</td><td>102</td><td>103</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>448</td><td>462</td><td>14</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="790 539 1025 555">※研究職を除き、歯科医師を含む。</p> <ul data-bbox="768 587 1469 651" style="list-style-type: none"> 就職説明会に参加し、パワーポイントを活用した効果的なPRや、看護師専門サイトの活用、大阪府立大学との連携の継続及び看護実習受入校との連携強化等、看護師の採用PRの強化を行った。 <table border="1" data-bbox="790 675 1317 826"> <caption>看護師の現員数（単位：人）</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成25年3月1日時点 現員数</th> <th>平成26年3月1日時点 現員数</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>急性期C</td><td>708</td><td>727</td><td>19</td></tr> <tr><td>呼吸器C</td><td>331</td><td>348</td><td>17</td></tr> <tr><td>精神C</td><td>269</td><td>280</td><td>11</td></tr> <tr><td>成人病C</td><td>432</td><td>456</td><td>24</td></tr> <tr><td>母子C</td><td>473</td><td>477</td><td>4</td></tr> <tr><td>合計</td><td>2,213</td><td>2,288</td><td>75</td></tr> </tbody> </table> <ul data-bbox="768 850 1469 914" style="list-style-type: none"> 優秀な人材の確保を目指し、医療技術職8職種の採用試験を6月と7月に、4職種の採用試験を9月と10月に実施し、さらに6職種の採用試験を12月と1月に実施した。 <table border="1" data-bbox="790 946 1317 1106"> <caption>医療技術職の現員数（単位：人）</caption> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成25年3月1日時点 現員数</th> <th>平成26年3月1日時点 現員数</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>急性期C</td><td>177</td><td>187</td><td>10</td></tr> <tr><td>呼吸器C</td><td>65</td><td>62</td><td>△ 3</td></tr> <tr><td>精神C</td><td>31</td><td>34</td><td>3</td></tr> <tr><td>成人病C</td><td>115</td><td>122</td><td>7</td></tr> <tr><td>母子C</td><td>76</td><td>79</td><td>3</td></tr> <tr><td>合計</td><td>464</td><td>484</td><td>20</td></tr> </tbody> </table> <ul data-bbox="768 1145 1469 1185" style="list-style-type: none"> 大阪府医療人キャリアセンターを活用した学会への参加の促進や、キャリアセンター主催・共催によるキャリアアップセミナーを開催した。 <ul data-bbox="768 1225 1469 1289" style="list-style-type: none"> 各病院において、認定看護師等が院内外で講師等として活動するほか、医療チームの一員として専門的に患者・家族のサポートを行うなど、各専門分野で実践と指導を行った。 	病院名	平成25年3月1日時点 現員数	平成26年3月1日時点 現員数	増減	急性期C	145	152	7	呼吸器C	64	62	△ 2	精神C	23	27	4	成人病C	114	118	4	母子C	102	103	1	合計	448	462	14	病院名	平成25年3月1日時点 現員数	平成26年3月1日時点 現員数	増減	急性期C	708	727	19	呼吸器C	331	348	17	精神C	269	280	11	成人病C	432	456	24	母子C	473	477	4	合計	2,213	2,288	75	病院名	平成25年3月1日時点 現員数	平成26年3月1日時点 現員数	増減	急性期C	177	187	10	呼吸器C	65	62	△ 3	精神C	31	34	3	成人病C	115	122	7	母子C	76	79	3	合計	464	484	20	<p data-bbox="1496 244 1529 268">Ⅲ</p>	<ul data-bbox="1552 292 2078 467" style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、全国的に医療スタッフが不足している中で、医師については大学病院への働きかけ等、看護師については説明会への積極的な参加や養成学校との連携強化等、医療技術職については採用試験日程の見直し等を実施した。 診療機能充実のために優れた医療スタッフの確保・育成に取り組んだことについて、Ⅲ評価とした。
病院名	平成25年3月1日時点 現員数	平成26年3月1日時点 現員数	増減																																																																																						
急性期C	145	152	7																																																																																						
呼吸器C	64	62	△ 2																																																																																						
精神C	23	27	4																																																																																						
成人病C	114	118	4																																																																																						
母子C	102	103	1																																																																																						
合計	448	462	14																																																																																						
病院名	平成25年3月1日時点 現員数	平成26年3月1日時点 現員数	増減																																																																																						
急性期C	708	727	19																																																																																						
呼吸器C	331	348	17																																																																																						
精神C	269	280	11																																																																																						
成人病C	432	456	24																																																																																						
母子C	473	477	4																																																																																						
合計	2,213	2,288	75																																																																																						
病院名	平成25年3月1日時点 現員数	平成26年3月1日時点 現員数	増減																																																																																						
急性期C	177	187	10																																																																																						
呼吸器C	65	62	△ 3																																																																																						
精神C	31	34	3																																																																																						
成人病C	115	122	7																																																																																						
母子C	76	79	3																																																																																						
合計	464	484	20																																																																																						

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																																																						
②	施設及び医療機器の計画的な整備 <ul style="list-style-type: none"> 各病院において診療機能の維持・向上を図る上で必要となる機器の整備を進める。 収支改善が見込まれる機器の整備・更新を優先的に導入する。 	11 報告書頁28～30	<ul style="list-style-type: none"> 高度医療機器については急性期・総合医療センターのCT、呼吸器・アレルギー医療センターのMRI、成人病センターのアンギオ、母子保健総合医療センターの手術室統合カメラシステムについて更新・整備を行った。 収支改善が見込まれる機器を優先的に導入する収支改善枠を設定し、急性期・総合医療センターにおける硝子体手術機器など6機器を導入した。 <p>CT、MRI、アンギオ、RI、リニアック、PET-CTの稼働状況（延べ患者数） （単位：人）</p> <table border="1" data-bbox="786 528 1373 754"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器種別</th> <th rowspan="2">病院名</th> <th rowspan="2">平成24年度実績</th> <th rowspan="2">平成25年度目標値</th> <th rowspan="2">平成25年度実績</th> <th colspan="2">目標差</th> </tr> <tr> <th>前年度差</th> <th>本年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">CT</td> <td rowspan="2">法人計</td> <td rowspan="2">59,332</td> <td rowspan="2">59,800</td> <td rowspan="2">62,458</td> <td>2,658</td> <td>3,126</td> </tr> <tr> <td>607</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MRI</td> <td rowspan="2">法人計</td> <td rowspan="2">17,080</td> <td rowspan="2">16,620</td> <td rowspan="2">17,227</td> <td>722</td> <td>544</td> </tr> <tr> <td>308</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アンギオ</td> <td rowspan="2">法人計</td> <td rowspan="2">4,458</td> <td rowspan="2">4,280</td> <td rowspan="2">5,002</td> <td>2,961</td> <td>1,910</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">RI</td> <td rowspan="2">法人計</td> <td rowspan="2">5,112</td> <td rowspan="2">4,810</td> <td rowspan="2">5,118</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">リニアック</td> <td rowspan="2">法人計</td> <td rowspan="2">38,726</td> <td rowspan="2">37,675</td> <td rowspan="2">40,636</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機器種別	病院名	平成24年度実績	平成25年度目標値	平成25年度実績	目標差		前年度差	本年度差	CT	法人計	59,332	59,800	62,458	2,658	3,126	607	147	MRI	法人計	17,080	16,620	17,227	722	544	308	6	アンギオ	法人計	4,458	4,280	5,002	2,961	1,910	6		RI	法人計	5,112	4,810	5,118					リニアック	法人計	38,726	37,675	40,636					Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、高度医療機器の整備や大規模施設整備について、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。
機器種別	病院名	平成24年度実績	平成25年度目標値						平成25年度実績	目標差																																																	
				前年度差	本年度差																																																						
CT	法人計	59,332	59,800	62,458	2,658	3,126																																																					
					607	147																																																					
MRI	法人計	17,080	16,620	17,227	722	544																																																					
					308	6																																																					
アンギオ	法人計	4,458	4,280	5,002	2,961	1,910																																																					
					6																																																						
RI	法人計	5,112	4,810	5,118																																																							
リニアック	法人計	38,726	37,675	40,636																																																							

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																																																																																																					
	(3) 府域の医療水準の向上																																																																																																									
	① 地域医療への貢献	12		IV																																																																																																						
	<ul style="list-style-type: none"> 各病院において地域医療機関との連携を強化し、紹介率、逆紹介率を向上させる。 	報告書頁 31 ～ 33	<ul style="list-style-type: none"> 急性期Cにおけるインターネットを用いた地域医療連携システムによる紹介予約の実施（25年度：981件、前年度：829件）など各病院において取組みを実施した。 <table border="1"> <caption>紹介率・逆紹介率（単位：％）</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th rowspan="2">区分</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成25年度</th> <th colspan="2">目標差</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>前年度差</th> <th>前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">急性期C</td> <td>紹介率</td> <td>81.1</td> <td>82.0</td> <td>85.2</td> <td>3.2</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>97.7</td> <td>100.0</td> <td>99.4</td> <td>△0.6</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">呼吸器C</td> <td>紹介率</td> <td>53.4</td> <td>55.0</td> <td>62.1</td> <td>7.1</td> <td>8.7</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>51.6</td> <td>51.0</td> <td>58.2</td> <td>7.2</td> <td>6.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">精神C</td> <td>紹介率</td> <td>50.5</td> <td></td> <td>56.6</td> <td>—</td> <td>6.1</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>38.3</td> <td></td> <td>45.3</td> <td>—</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成人病C</td> <td>紹介率</td> <td>91.9</td> <td>91.8</td> <td>94.3</td> <td>2.5</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>116.3</td> <td>165.0</td> <td>130.5</td> <td>△34.5</td> <td>14.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">母子C</td> <td>紹介率</td> <td>85.4</td> <td>80.0</td> <td>87.7</td> <td>7.7</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>32.5</td> <td>28.0</td> <td>31.5</td> <td>3.5</td> <td>△1.0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>成人病センターにおける地域連携クリニカルパス</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成25年度</th> <th>目標差</th> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td>度目標</td> <td>実績</td> <td>前年度差</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適用症例数 (例)</td> <td>197</td> <td>140</td> <td>260</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>登録医療機関数 (機関)</td> <td>151</td> <td>150</td> <td>159</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	区分	平成24年度	平成25年度	平成25年度	目標差		実績	目標	実績	前年度差	前年度差	急性期C	紹介率	81.1	82.0	85.2	3.2	4.1	逆紹介率	97.7	100.0	99.4	△0.6	1.7	呼吸器C	紹介率	53.4	55.0	62.1	7.1	8.7	逆紹介率	51.6	51.0	58.2	7.2	6.6	精神C	紹介率	50.5		56.6	—	6.1	逆紹介率	38.3		45.3	—	7.0	成人病C	紹介率	91.9	91.8	94.3	2.5	2.4	逆紹介率	116.3	165.0	130.5	△34.5	14.2	母子C	紹介率	85.4	80.0	87.7	7.7	2.3	逆紹介率	32.5	28.0	31.5	3.5	△1.0	区分	平成24年度	平成25年度	平成25年度	目標差		実績	度目標	実績	前年度差	適用症例数 (例)	197	140	260	120	登録医療機関数 (機関)	151	150	159	9					8	<ul style="list-style-type: none"> 各病院の地域連携強化の取組みを行った結果、25年度は、目標設定のない精神医療センターを除く（法令等に基づく入院の割合が多いため紹介率の目標設定にじまない）4病院全てで紹介率が目標・前年度実績を上回った。 成人病センターにおける地域連携クリニカルパス推進のための取組みも、適用症例数は前年度比較63件（32％）の増となり、登録医療機関数は目標比較9機関の増、前年度比較8機関増とそれぞれ増加に繋がった。 各病院における地域連携強化のための取組みが結果として紹介率の上昇に繋がり、各病院の努力が実績として数値に現れた。また、成人病センターにおけるクリニカルパスの普及活動についても適用症例数・登録医療機関数の増加という形で数値に現れたため、各病院の取組みが実績に繋がったという点についてIV評価とした。
病院名	区分	平成24年度	平成25年度			平成25年度	目標差																																																																																																			
		実績	目標	実績	前年度差	前年度差																																																																																																				
急性期C	紹介率	81.1	82.0	85.2	3.2	4.1																																																																																																				
	逆紹介率	97.7	100.0	99.4	△0.6	1.7																																																																																																				
呼吸器C	紹介率	53.4	55.0	62.1	7.1	8.7																																																																																																				
	逆紹介率	51.6	51.0	58.2	7.2	6.6																																																																																																				
精神C	紹介率	50.5		56.6	—	6.1																																																																																																				
	逆紹介率	38.3		45.3	—	7.0																																																																																																				
成人病C	紹介率	91.9	91.8	94.3	2.5	2.4																																																																																																				
	逆紹介率	116.3	165.0	130.5	△34.5	14.2																																																																																																				
母子C	紹介率	85.4	80.0	87.7	7.7	2.3																																																																																																				
	逆紹介率	32.5	28.0	31.5	3.5	△1.0																																																																																																				
区分	平成24年度	平成25年度	平成25年度	目標差																																																																																																						
	実績	度目標	実績	前年度差																																																																																																						
適用症例数 (例)	197	140	260	120																																																																																																						
登録医療機関数 (機関)	151	150	159	9																																																																																																						
				8																																																																																																						
	<ul style="list-style-type: none"> 成人病センターでは、地域連携クリニカルパスの普及啓発に努め、適用パス数、登録医療機関数を拡大する。 		<ul style="list-style-type: none"> 高度医療機器の共同利用件数 【急性期C】MRI 32件（前年度28件）、CT 149件（前年度102件）、RI 9件（前年度10件） 【呼吸器C】MRI 20件（前年度11件）、CT 94件（前年度103件）、RI 112件（前年度118件） 開放病床の状況 【急性期C】登録医届出数 659人（前年度618人）、利用患者数 34人（前年度37人） 【呼吸器C】登録医届出数 117人（前年度109人）、利用患者数 9人（前年度1人） 																																																																																																							

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																																												
②	<p>府域の医療従事者への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性期・総合医療センター及び成人病センターにおいて、研修医、レジデントに高度な医療技術を教育・研修する教育研修センターを活用し、地域の医師を受け入れ、段階的に人数を増やしていく。 母子保健総合医療センターにおいて「産科シニアフェロー制度」により、周産期医療に従事する医師の水準向上に貢献する。 看護師・薬剤師等医療スタッフの資質向上のため、実習生の受入等を積極的に行う。 	13 報告書頁34～35	<p>臨床研修医・レジデントの受入数（単位：人）</p> <table border="1" data-bbox="786 245 1193 371"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成25年度実績</th> <th>前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修医</td> <td>44</td> <td>46</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>(外数)協力型受入れ</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>レジデント</td> <td>137</td> <td>143</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 25年度に新設された産科シニアフェロー制度については、7人を採用し、優れた医療スタッフの確保により診療機能を強化するとともに、周産期専門医の養成に貢献した。 5病院における看護実習生の受け入れ数は、5病院全体では増加した。 <p>看護学生実習受入れ数（単位：人）</p> <table border="1" data-bbox="786 612 1249 791"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成25年度実績</th> <th>前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期C</td> <td>690</td> <td>839</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td>呼吸器C</td> <td>438</td> <td>377</td> <td>△ 61</td> </tr> <tr> <td>精神C</td> <td>765</td> <td>810</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>成人病C</td> <td>315</td> <td>396</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>母子C</td> <td>616</td> <td>608</td> <td>△ 8</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,824</td> <td>3,030</td> <td>206</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成24年度実績	平成25年度実績	前年度差	臨床研修医	44	46	2	(外数)協力型受入れ	27	27	0	レジデント	137	143	6	区分	平成24年度実績	平成25年度実績	前年度差	急性期C	690	839	149	呼吸器C	438	377	△ 61	精神C	765	810	45	成人病C	315	396	81	母子C	616	608	△ 8	合計	2,824	3,030	206	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、地域の医療スタッフやレジデント、看護実習生の受入れなど、年度計画の項目を達成したことについて、Ⅲ評価とした。
区分	平成24年度実績	平成25年度実績	前年度差																																														
臨床研修医	44	46	2																																														
(外数)協力型受入れ	27	27	0																																														
レジデント	137	143	6																																														
区分	平成24年度実績	平成25年度実績	前年度差																																														
急性期C	690	839	149																																														
呼吸器C	438	377	△ 61																																														
精神C	765	810	45																																														
成人病C	315	396	81																																														
母子C	616	608	△ 8																																														
合計	2,824	3,030	206																																														
③	<p>府民への保健医療情報の提供・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人及び各病院のHPにおいて、診療実績、医療の質を分かりやすく紹介する。 府民に病気の予防や健康の保持・増進に役立つ公開講座を開催する。 	14 報告書頁36	<ul style="list-style-type: none"> 機構全体として臨床評価指標の更新や、冊子版を配布するなど、法人の診療機能のPRに努めるとともに、各病院においてもホームページを活用し保健医療情報などの発信を積極的に行った。 5病院合同による府民公開講座を10月に開催した。テーマ：「高齢者に優しい治療法-生活の質（QOL）を守るためには-」（参加者：350人） 	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、機構の診療機能の発信や医療に関する知見の普及啓発活動を計画どおり実施したことについて、Ⅲ評価とした。 																																												

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																																			
	(4) より安心で信頼できる質の高い医療の提供																																							
①	医療安全対策等の徹底 <ul style="list-style-type: none"> 各病院医療安全管理委員会、事故調査委員会等において医療安全対策を徹底する。 医療事故防止のため、各病院医療安全管理者による病院間の医療事故等の情報交換・共有に努める。 医療に関する透明性を高めるため、医療事故公表基準に基づき公表を行う。 医薬品及び医療機器に関する安全情報の的確な提供、服薬指導の充実を図る。 	15 報告書頁 37 ～ 38	<ul style="list-style-type: none"> 各病院においては毎月医療安全管理委員会を開催し、院内での医療事故防止に努めた。 5病院の医療安全管理者による会議を定期的に行い（11回開催）、病院間の医療事故等の情報交換・共有に努めた。 医療事故公表基準に基づき、各病院の「医療事故の状況」について、各病院HPで公表を行った。 服薬指導件数については、4病院が目標、前年度実績をそれぞれ上回った。 <p>服薬指導件数（単位：件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成25年度目標</th> <th>平成25年度実績</th> <th>目標差 前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期C</td> <td>10,376</td> <td>11,500</td> <td>15,550</td> <td>4,050 5,174</td> </tr> <tr> <td>呼吸器C</td> <td>7,722</td> <td>7,000</td> <td>8,751</td> <td>1,751 1,029</td> </tr> <tr> <td>精神C</td> <td>2,120</td> <td>2,100</td> <td>2,169</td> <td>69 49</td> </tr> <tr> <td>成人病C</td> <td>6,694</td> <td>6,800</td> <td>6,892</td> <td>92 198</td> </tr> <tr> <td>母子C</td> <td>2,618</td> <td>3,350</td> <td>1,549</td> <td>△ 1,801 △ 1,069</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>29,530</td> <td>30,750</td> <td>34,911</td> <td>4,161 5,381</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差 前年度差	急性期C	10,376	11,500	15,550	4,050 5,174	呼吸器C	7,722	7,000	8,751	1,751 1,029	精神C	2,120	2,100	2,169	69 49	成人病C	6,694	6,800	6,892	92 198	母子C	2,618	3,350	1,549	△ 1,801 △ 1,069	合計	29,530	30,750	34,911	4,161 5,381	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、各病院における医療事故の防止策、服薬指導など、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。
病院名	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差 前年度差																																				
急性期C	10,376	11,500	15,550	4,050 5,174																																				
呼吸器C	7,722	7,000	8,751	1,751 1,029																																				
精神C	2,120	2,100	2,169	69 49																																				
成人病C	6,694	6,800	6,892	92 198																																				
母子C	2,618	3,350	1,549	△ 1,801 △ 1,069																																				
合計	29,530	30,750	34,911	4,161 5,381																																				

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																																																																
②	<p>医療の標準化と最適な医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテやDPCの導入状況を踏まえつつ、クリニカルパスの点検や、新たなパスの作成に努める。 精神医療センターでは、統合失調症クリニカルパスを電子カルテシステムと連動し、運用の拡大を図る。 急性期・総合医療センターでは病院機能評価受審に向けて課題の洗い出しや改善、自己評価に取り組み、評価の更新を図る。 	16 報告書頁39～40	<ul style="list-style-type: none"> クリニカルパスの適用率については、4病院中3病院が目標及び前年度実績を上回った。 <p>クリニカルパス適用状況</p> <table border="1" data-bbox="781 316 1361 638"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th rowspan="2">区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成25年度目標</th> <th>平成25年度実績</th> <th colspan="2">目標差</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th>前年度差</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">急性期C</td> <td>適用率(%)</td> <td>74.5</td> <td>78.0</td> <td>55.0</td> <td>△ 23.0</td> <td>△ 19.5</td> </tr> <tr> <td>種類数</td> <td>704</td> <td>690</td> <td>597</td> <td>△ 93</td> <td>△ 107</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">呼吸器C</td> <td>適用率(%)</td> <td>48.2</td> <td>50.0</td> <td>57.5</td> <td>7.5</td> <td>9.3</td> </tr> <tr> <td>種類数</td> <td>60</td> <td>110</td> <td>67</td> <td>△ 43</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成人病C</td> <td>適用率(%)</td> <td>82.7</td> <td>82.0</td> <td>82.5</td> <td>0.5</td> <td>△ 0.2</td> </tr> <tr> <td>種類数</td> <td>305</td> <td>300</td> <td>314</td> <td>14</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">母子C</td> <td>適用率(%)</td> <td>47.9</td> <td>49.0</td> <td>49.0</td> <td>0.0</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>種類数</td> <td>181</td> <td>200</td> <td>183</td> <td>△ 17</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 精神医療センターでは、医師・看護師を中心とした職種横断的な会議を開催し検討を重ね、年末には医療観察法病棟を除く全病棟で運用を開始した。 急性期・総合医療センター、母子保健総合医療センターにおいては病院機能評価を受審し、病院全体で課題の改善や検証等に取り組んだ。 	病院名	区分	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差					前年度差		急性期C	適用率(%)	74.5	78.0	55.0	△ 23.0	△ 19.5	種類数	704	690	597	△ 93	△ 107	呼吸器C	適用率(%)	48.2	50.0	57.5	7.5	9.3	種類数	60	110	67	△ 43	7	成人病C	適用率(%)	82.7	82.0	82.5	0.5	△ 0.2	種類数	305	300	314	14	9	母子C	適用率(%)	47.9	49.0	49.0	0.0	1.1	種類数	181	200	183	△ 17	2	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> クリニカルパス適用率・種類数について、5病院全体として積極的な運用が図られた。急性期・総合医療センターにおいては、クリニカルパス適用率が目標に対して70.5%の達成率となった。これはより高度な医療をめざし、パスの承認基準を著しく高めたため、パスの種類が減少し、これに伴って適用率が低下したものである。 精神医療センターにおける統合失調症クリニカルパスについても全病棟での運用が実現した。 病院機能評価を受審した急性期・総合医療センター、母子保健総合医療センターにおいては受審をきっかけとした課題の洗い出し等に取り組み、よりよい医療提供体制とする契機となった。 クリニカルパスについては一部センターで適用率・種類数が減少したものの、患者にとって最適な医療を追求した結果であり、その他の病院機能評価の受審などの取組みについても計画どおり実施し、各病院において最適な医療を提供する体制の整備が進められた点について、Ⅲ評価とした。
病院名	区分	平成24年度実績	平成25年度目標			平成25年度実績	目標差																																																														
					前年度差																																																																
急性期C	適用率(%)	74.5	78.0	55.0	△ 23.0	△ 19.5																																																															
	種類数	704	690	597	△ 93	△ 107																																																															
呼吸器C	適用率(%)	48.2	50.0	57.5	7.5	9.3																																																															
	種類数	60	110	67	△ 43	7																																																															
成人病C	適用率(%)	82.7	82.0	82.5	0.5	△ 0.2																																																															
	種類数	305	300	314	14	9																																																															
母子C	適用率(%)	47.9	49.0	49.0	0.0	1.1																																																															
	種類数	181	200	183	△ 17	2																																																															
③	<p>患者中心の医療の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 各病院において、「患者の権利に関する宣言」を職員・患者への周知を図る。 インフォームドコンセントの徹底、患者に分かりやすい内容で実施する。 患者のQOL向上のため、患者の病態に応じた治療、患者の希望を尊重した医療の提供に努める。 病院給食について、栄養サポートチーム活動など治療効果を上げるための栄養管理の充実をめざし、患者の嗜好にも配慮した選択メニューの拡充に取り組む。 	17 報告書頁40～42	<ul style="list-style-type: none"> 各病院において、「患者の権利に関する宣言」を職員に周知徹底、院内掲示板や入院案内パンフレットに掲載するなど、周知を図った。 母子保健総合医療センターにおけるインフォームド・アセント（子どもに理解できるようわかりやすく説明し、その内容について子どもの納得を得ること）の徹底をはじめ、患者への説明責任を果たすための取組みを各病院で実施した。 各病院においては、呼吸器・アレルギー医療センターにおける陰圧褥瘡治療器を活用したケアや、成人病Cにおけるセンチネルリンパ節生検などの患者QOL向上につながる治療を積極的に取り入れ実施した。 各病院においては、栄養サポートチーム（NST）を中心としたNST回診の回数増など、病院給食の充実のための取組みを実施した。 	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、各病院におけるインフォームドコンセントの徹底や患者QOL向上のための取組みなど、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。 																																																																

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																																																																																		
2	患者・府民の満足度向上																																																																																						
	(1) 患者満足度調査等の活用	18		IV																																																																																			
	<p>各病院において、患者ニーズの把握に努め、取組の検証、患者・府民サービスの向上に取り組む。</p> <p>患者サービスの効果を客観的に把握するため、9月に患者満足度調査を実施する。</p> <p>やすらぎを与える院内コンサートやギャラリーなどのイベント等の充実を図る。</p> <p>職員接遇について、研修の実施等により向上を図る。</p> <p>NPOによる院内見学及び意見交換、病院見学会を実施し、各病院の取組に活用する。</p>	<p>18 報告書頁 43 ～ 45</p>	<p>各病院における患者サービス実施計画、進捗状況、実績について、本部事務局・5病院間で共有化を図るなど、法人全体で患者・府民のサービス向上を図った。</p> <p>「病院顧客満足度調査」を実施し、「全体にこの病院に満足している」と答えたものの割合が、概ね全病院で高くなっている。</p> <table border="1" data-bbox="813 379 1227 547"> <caption>全体にこの病院に満足している割合（入院）（単位：％）</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="3">調査年度</th> <th colspan="2">H25年度との比較</th> </tr> <tr> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期C</td> <td>90.79</td> <td>92.54</td> <td>90.87</td> <td>0.08</td> <td>△ 1.67</td> </tr> <tr> <td>呼吸器C</td> <td>90.07</td> <td>91.94</td> <td>93.04</td> <td>2.97</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>精神C</td> <td>64.58</td> <td>65.12</td> <td>70.77</td> <td>6.19</td> <td>5.65</td> </tr> <tr> <td>成人病C</td> <td>92.94</td> <td>94.39</td> <td>95.84</td> <td>2.90</td> <td>1.45</td> </tr> <tr> <td>母子C</td> <td>92.86</td> <td>91.45</td> <td>92.95</td> <td>0.09</td> <td>1.50</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="813 563 1227 730"> <caption>全体にこの病院に満足している割合（外来）（単位：％）</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="3">調査年</th> <th colspan="2">H25年度との比較</th> </tr> <tr> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期C</td> <td>80.96</td> <td>80.67</td> <td>80.25</td> <td>△ 0.71</td> <td>△ 0.42</td> </tr> <tr> <td>呼吸器C</td> <td>77.83</td> <td>81.48</td> <td>83.18</td> <td>5.35</td> <td>1.70</td> </tr> <tr> <td>精神C</td> <td>77.54</td> <td>70.65</td> <td>84.48</td> <td>6.94</td> <td>13.83</td> </tr> <tr> <td>成人病C</td> <td>86.93</td> <td>89.35</td> <td>88.61</td> <td>1.68</td> <td>△ 0.74</td> </tr> <tr> <td>母子C</td> <td>88.79</td> <td>89.01</td> <td>92.54</td> <td>3.75</td> <td>3.53</td> </tr> </tbody> </table> <p>各病院において、患者の要望に対応した取組みやコンサート・イベント等を実施し患者の療養環境の向上に努めた。</p> <p>【急性期C】各病棟談話室における相談申込み用紙の設置 など 【呼吸器C】小児科外来における学習室の設置 など 【精神C】預り金窓口の受付時間の延長 など 【成人病C】概算入院費用の説明体制の構築 など 【母子C】患者の「きょうだいお預かり」の常設化（平日午前中）など</p> <p>本部事務局主催による新規採用職員研修の一環としての接遇研修（340人が参加）を行った。また、各病院において、業務内容に合わせた接遇研修（内部・外部講師等）を行った。また、職員自ら企画した接遇研修、委託職員も含めた接遇研修（各病院合計936人が参加）や等も実施し、病院一丸となって職員の接遇向上を図った。</p> <p>接遇向上のための取組み 【急性期C】独自の接遇強化週間の設定（9月、10月）など 【呼吸器C】総合案内周辺の接遇担当者の増員 など 【精神C】接遇研修を含む患者サービスの全体的な向上のためのワーキンググループ会議を毎月開催 など 【成人病C】全職員を対象とした接遇自己チェックの実施など 【母子C】幹部会議、運営会議における患者へと職員間での挨拶の周知 など</p> <p>精神医療センターにおいては、NPOによる院内見学と意見交換会を1月に実施し、意見を病院の取組に活用することにより、更なる患者・府民サービスへの向上を図った。</p>	病院名	調査年度			H25年度との比較		H23年度	H24年度	H25年度	H23年度	H24年度	急性期C	90.79	92.54	90.87	0.08	△ 1.67	呼吸器C	90.07	91.94	93.04	2.97	1.10	精神C	64.58	65.12	70.77	6.19	5.65	成人病C	92.94	94.39	95.84	2.90	1.45	母子C	92.86	91.45	92.95	0.09	1.50	病院名	調査年			H25年度との比較		H23年度	H24年度	H25年度	H23年度	H24年度	急性期C	80.96	80.67	80.25	△ 0.71	△ 0.42	呼吸器C	77.83	81.48	83.18	5.35	1.70	精神C	77.54	70.65	84.48	6.94	13.83	成人病C	86.93	89.35	88.61	1.68	△ 0.74	母子C	88.79	89.01	92.54	3.75	3.53		<p>5病院中4病院で、患者満足度調査の「全体にこの病院に満足している」患者の割合が概ね90%を超えるなど、患者満足度が高い水準で推移している。</p> <p>各病院において患者の要望に対応した取組みを実施し、また接遇のさらなる向上のための取組みとして、外部講師による研修や職員自ら企画した研修などを全職員（委託職員も含む）に実施するとともに、独自の接遇強化週間の設定や接遇担当者の増員を実施するなど、さらなる患者満足度の向上に努めた。</p> <p>NPOによる院内見学を実施した精神医療センターにおいては、患者目線に立った客観的な評価によりさらなる患者サービスの改善に努めた。</p> <p>法人全体としても各病院の実績の情報共有化を図り、相互に活用するよう努めた。</p> <p>これら各病院における患者要望に対応した取組みや接遇の向上のための取組みを機構一丸となって推進した結果患者満足度調査においては高水準の結果を得ていることから、IV評価とした。</p>
病院名	調査年度				H25年度との比較																																																																																		
	H23年度	H24年度	H25年度	H23年度	H24年度																																																																																		
急性期C	90.79	92.54	90.87	0.08	△ 1.67																																																																																		
呼吸器C	90.07	91.94	93.04	2.97	1.10																																																																																		
精神C	64.58	65.12	70.77	6.19	5.65																																																																																		
成人病C	92.94	94.39	95.84	2.90	1.45																																																																																		
母子C	92.86	91.45	92.95	0.09	1.50																																																																																		
病院名	調査年			H25年度との比較																																																																																			
	H23年度	H24年度	H25年度	H23年度	H24年度																																																																																		
急性期C	80.96	80.67	80.25	△ 0.71	△ 0.42																																																																																		
呼吸器C	77.83	81.48	83.18	5.35	1.70																																																																																		
精神C	77.54	70.65	84.48	6.94	13.83																																																																																		
成人病C	86.93	89.35	88.61	1.68	△ 0.74																																																																																		
母子C	88.79	89.01	92.54	3.75	3.53																																																																																		

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由
	(2) 院内環境の快適性向上等	19		Ⅲ	
	<ul style="list-style-type: none"> 各病院において院内環境の向上に取り組む。 精神医療センターにおいては駐車場の整備、母子保健総合医療センターにおいてはファミリーハウスを竣工する。 	報告書頁45	<ul style="list-style-type: none"> 各病院においてはアメニティの充実など、患者や来院者に快適な環境を提供し利便性の向上を図った。 【急性期C】トイシ改修を中心にアメニティ・バリアフリー向上を目的とした7年計画の策定 【呼吸器C】コンビニのオープン、「休憩コーナー」・「飲食コーナー」の設置 【精神C】本院敷地北東角に遊歩道やテニスコート等を備えた運動広場（仮称）整備基本構想の策定 【成人病C】外部出入り口の防犯カメラの増設 【母子C】母性棟患者アンケートに基づいた個室増のための改修工事の実施 精神医療センターの駐車場整備については11月に完了し、新病院における患者の利便性がより一層向上した。新ファミリーハウスについては整備が完了し、26年3月にオープンした。 		<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、精神医療センターの駐車場整備、母子保健総合医療センターのファミリーハウスをはじめとする患者の利便性・快適性の向上を目的として計画された施設整備について、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。
	(3) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善			Ⅲ	
	① 外来待ち時間の対応	20		Ⅲ	
	<ul style="list-style-type: none"> 診療待ち表示システムの導入、外来待合スペースの改修によるアメニティの向上を図る。 声かけなどにより患者にできるだけ待ち時間を負担に感じさせないよう取組む。 	報告書頁46～47	<ul style="list-style-type: none"> 待ち時間自体の短縮には限界があることから、負担感の軽減のために、各病院において、待ち時間が長い患者に対しての声掛け等、様々な取組みを行った。 【急性期C】診療待ち時間が30分を超えると、医師名と待ち時間を外来受付カウンターに表示、待ち時間が長い患者に対しては声掛けにより残り待ち時間の伝達 【呼吸器C】休憩コーナー・キッズコーナーの整備と患者案内表示システムモニターの設置、待ち時間が長くなっている患者さんへの積極的な声掛けの実施 【精神C】診療予約システム、医療情報等の情報表示システムの導入 【成人病C】待合のテレビを更新し、成人病センター制作のがん情報番組を放映、診察待ちの間に参加可能な看護部主催のセミナーの開催 【母子C】母性外来の待合のテレビを増設し出産・育児に関する情報を提供、母性外来の診察待ちの方に患者用PHSの貸し出し継続 		<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、患者の待ち時間の負担軽減快適な待合環境づくりなど、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																														
②	<p>検査待ち・手術待ちの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 検査の効率的な実施や機器の更新などによる検査件数の増加に取り組む。 手術室運用の効率化、麻酔科医等手術スタッフの確保により、手術件数の増加を図る。 	<p>21 報告書頁47～48</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各病院の高度医療機器稼働状況について以下の取組み等によりCT・MRI・アンギオ・リニアックは、目標及び前年度実績を上回った。（報告書P.29参照） 各病院においては、手術用機械の更新やすきま時間の活用、手術枠の増設等に取組み、急性期・総合医療センターでは目標・前年度実績を下回ったものの、高度な麻酔科管理を要する手術件数の割合が増加したためであり、全体として手術件数は増加した。 <p>【急性期・総合医療センター】 手術枠を増設し、長時間の麻酔科管理を要する手術や緊急手術は増加した。一方で、麻酔科の管理を必要としない手術が減少したため、全体として手術件数は減少した。</p> <p>【呼吸器C】 眼科の手術用顕微鏡更新や、産婦人科の子宮がん手術等専門医招聘により手術件数が増加した。</p> <p>【成人病C】 応援麻酔医の確保や、手術と手術の間のすきま時間の効率的運用の試行により手術件数が増加した。</p> <p>【母子C】 看護師の配置を調整し、手術枠を増設した結果、手術件数が増加した。</p> <table border="1" data-bbox="786 751 1173 967"> <caption>手術件数（単位：件）</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成25年度目標</th> <th>平成25年度実績</th> <th>目標差 前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期C</td> <td>7,463</td> <td>7,600</td> <td>7,301</td> <td>△ 299 △ 162</td> </tr> <tr> <td>呼吸器C</td> <td>1,586</td> <td>1,500</td> <td>1,766</td> <td>266 180</td> </tr> <tr> <td>成人病C</td> <td>2,849</td> <td>2,850</td> <td>2,875</td> <td>25 26</td> </tr> <tr> <td>母子C</td> <td>3,948</td> <td>3,900</td> <td>4,136</td> <td>236 188</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15,846</td> <td>15,850</td> <td>16,078</td> <td>228 232</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差 前年度差	急性期C	7,463	7,600	7,301	△ 299 △ 162	呼吸器C	1,586	1,500	1,766	266 180	成人病C	2,849	2,850	2,875	25 26	母子C	3,948	3,900	4,136	236 188	合計	15,846	15,850	16,078	228 232	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、各病院においては検査・手術の待機患者の解消のための取組みを実施した。急性期・総合医療センターでは目標・前年度実績を下回ったものの、高度な麻酔科管理を要する手術件数の割合が増加したためであり、検査や手術を必要とする患者一人一人に適切に対応し、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。
区分	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差 前年度差																															
急性期C	7,463	7,600	7,301	△ 299 △ 162																															
呼吸器C	1,586	1,500	1,766	266 180																															
成人病C	2,849	2,850	2,875	25 26																															
母子C	3,948	3,900	4,136	236 188																															
合計	15,846	15,850	16,078	228 232																															
(4)	<p>ボランティア等との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録言語の拡大を図るため、通訳ボランティアの募集を行う。 通訳ボランティアスキルの向上を図るため、(財)大阪府国際交流財団と共催で研修を実施する。 各病院において、患者の癒しにつながるアート活動や演奏など多様なボランティアの受入れを進める。 	<p>22 報告書頁49～50</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通訳ボランティアに対する募集を行い、新たに10言語、52人の登録があった。 スキル向上のための研修を(財)大阪府国際交流財団と共催で実施した。(3月) 各病院において、患者の癒しにつながるアート活動や演奏など多様なボランティアの参画を得て、療養環境の向上に努めた。 	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、ボランティアの受入れ拡大やスキルの向上、多様なボランティアの受入れなど、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。 																														

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標					
1 組織体制の確立					
(1) 組織マネジメントの強化					
		23		Ⅲ	
	<p>① 組織管理体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 理事長のリーダーシップのもと、5病院が法人として丸となって医療面経営面の改善に取り組む。 本部事務局においては、法人全体の運営や各病院間の調整等を担うなど、病院の支援機能を果たす。 <p>② プロパー化による組織力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 府派遣職員については、法人採用職員への切り替えを進める。 <ul style="list-style-type: none"> 事務職に社会人を採用するとともに、新卒者選考を実施する。 <p>③ 給与制度と連動した人事評価制度の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度については府派遣職員も評価対象に含め、制度を適正に運用する。 <p>④ 一般地方独立行政法人（非公務員型）への移行</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方独立行政法人法改正の動向を見極め、一般地方独立行政法人（非公務員型）への移行を図る。 	<p>報告書頁 52 ～ 53</p> <ul style="list-style-type: none"> 理事会や経営会議をはじめとした各種会議を通じ、機構全体で医療面や経営面における課題の洗い出し・改善に努めるとともに、理事長のリーダーシップのもと柔軟な組織運営に努めた。 本部事務局は、各種会議の運営や各病院間の調整等を行うとともに、法人全般にわたる企画機能、人事や財務などに関する総合調整機能を果たした。 府派遣職員から法人採用職員への切り替えに向け、事務プロパー採用試験（学歴不問）を実施し、26年4月付けで8人を採用した。 前年度から本格実施している法人の人事評価制度に府派遣職員も評価対象に含め、制度を適正に運用した。 大阪府・機構内での調整を進め、平成26年4月1日をもって一般地方独立行政法人（非公務員型）へ移行した。 		<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、機構全体として各病院の経営課題の議論や患者サービス向上のための取組み報告などの課題解決に取組み、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。 	
(2) 診療体制の強化及び人員配置の弾力化					
	<ul style="list-style-type: none"> 法人内の各病院間で兼任、応援など医師、看護師等の交流のための協力体制等を整備する。 急性期・総合医療センターでは、呼吸器外科を標榜し、呼吸器・アレルギー医療センターでは、呼吸器内視鏡内科を設置し、母子保健総合医療センターでは、集中治療科を設置し、するとともに、リハビリテーション科を設置する。 	<p>24</p> <p>報告書頁 54</p> <ul style="list-style-type: none"> 効率的・効果的に医療機能を発揮するため、各病院においては医師及び医療技術職の兼務による協力体制・研修体制を継続した。（以下抜粋） <ul style="list-style-type: none"> 【急性期C】 精神医療センターの身体合併症の診療目的…5人 【呼吸器C】 精神医療センターの結核合併症の診療目的…2人 【精神C】 母子保健総合医療センターの精神科疾患合併妊娠例の診療…1人 【成人病C】 母子保健総合医療センターにおける小児がん等診療…1人 【母子C】 急性期・総合医療センターの小児科当直の応援…2人 急性期・総合医療センター放射線治療科での研修…2人（診療放射線技師） 各病院においては、各部門の生産性や収益性を踏まえ、計画どおり診療科の新設や組織体制の再編を行い、診療体制の強化を図った。 	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、各病院間での兼任・研修体制を継続し、診療科の新設や組織体制の再編など、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。 	

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由
(3) コンプライアンスの徹底		25		Ⅲ	
① 医療倫理の確立等	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス（法令遵守）を確立するため、法人全体や各病院において研修等を実施する。 	報告書頁55～56	<ul style="list-style-type: none"> 役員及び職員のコンプライアンス（法令遵守）意識の向上を目的として、法人全体及び各病院において、研修や法令遵守通知等を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、コンプライアンスの向上のための研修などを実施し職員の意識向上に努め、研修に参加できなかった職員についてもフィードバックを図るなど、年度計画の項目を着実に達成したことについてⅢ評価とした。
② 診療情報の適正な管理	<ul style="list-style-type: none"> カルテ等の個人の診療情報については、大阪府個人情報保護条例及びカルテ等の診療情報の提供に関する規程に基づき、情報開示を適切に行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 「個人情報の取扱及び管理に関する規程」や「カルテ等の診療情報の提供に関する規程」等に基づき、カルテ開示の申出に適切に対応した。 		
③ 業務執行におけるコンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> 12月をコンプライアンス月間とし、意識啓発のための取組を定期的、継続的に実施していく。 		<ul style="list-style-type: none"> 12月をコンプライアンス月間として職員全体に周知・啓発を行った。また、3月には、コンプライアンス意識の向上を目的とした、本部主催の機構全体研修を実施した。 テーマ：「病院内業務適正化～凡例の理解と利用・ICの理解と問題～」 (参加者：44人) 研修に参加できなかった職員へのフィードバックを目的として、研修内容をDVDに収録し、5病院に配布して活用を図った。 		

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																																													
2 経営基盤の安定化																																																		
(1) 効率的・効果的な業務運営・業務プロセスの改善																																																		
①	自律的な経営管理の推進 <ul style="list-style-type: none"> 中期目標、中期計画及び年度計画の着実な達成に向けて、各病院が病院別の月次決算を踏まえた経営分析等を行い、必要な対応を行うなど、機動的な運営を行う。 	26 報告 書頁 57 ～ 59	<ul style="list-style-type: none"> 各病院の診療及び財務データの月次報告を作成し、計画目標や前年度実績との比較、経営状況の整理分析などにより、現状・課題を把握した。 財務データは、経営会議において増減理由、対応策を報告し、各病院において地域連携による新規患者の確保や、新たな診療報酬施設基準の取得により医業収益の拡大に結びつけ、さらなる経営改善に取り組んだ。 	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の月次決算の分析等による経営改善のための取組みを行った結果、計画を上回る資金収支差となった。 また、将来見込まれる施設整備財源等に充てるため、財源繰越制度を創設した。 メリットシステムについては、5病院あわせて約0.9億円を配分し、各病院の経営改善努力を還元した。 全体の資金収支差は、計画・前年度を上回る黒字となっているが、将来の施設整備に係る負担増が見込まれることから、財源繰越制度により12.9億円を積み立てた。 以上を踏まえ、計画どおり自律的な経営管理及び柔軟な予算編成・予算執行を行ったことについて、Ⅲ評価とした。 																																													
②	柔軟性のある予算編成及び予算執行の弾力化 <ul style="list-style-type: none"> 収支状況を踏まえた弾力的な予算編成、予算執行を行うことにより、効率的・効果的に業務運営を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 将来見込まれる施設整備財源等に充てるため、次年度以降への財源繰越制度を創設した。 この制度に基づき、計画を上回った資金収支差については、施設整備等積立金として、合計12.9億円を積み立てた。 																																															
<p>資金収支の状況（法人全体）（単位：億円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度 実 績</th> <th>平成25年度 計 画</th> <th>平成25年度 実 績</th> <th>計画との差 前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収 入</td> <td>846.7</td> <td>813.8</td> <td>823.7</td> <td>9.9 △ 23.0</td> </tr> <tr> <td> うち 医業 収益</td> <td>593.4</td> <td>612.4</td> <td>627.3</td> <td>14.9 33.9</td> </tr> <tr> <td>支 出</td> <td>833.2</td> <td>813.4</td> <td>805.9</td> <td>△ 7.5 △ 27.3</td> </tr> <tr> <td> うち 医業 費用</td> <td>645.6</td> <td>671.2</td> <td>667.4</td> <td>△ 3.8 21.8</td> </tr> <tr> <td> うち 資本 支出</td> <td>174.1</td> <td>126.2</td> <td>125.6</td> <td>△ 0.6 △ 48.5</td> </tr> <tr> <td>資金収支差 (A)</td> <td>13.4</td> <td>0.5</td> <td>17.9</td> <td>17.4 4.5</td> </tr> <tr> <td>施設整備等 積立金 (B)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>12.9</td> <td>— —</td> </tr> <tr> <td>(A) - (B)</td> <td>13.4</td> <td>—</td> <td>5.0</td> <td>— △ 8.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各項目で四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。</p>							平成24年度 実 績	平成25年度 計 画	平成25年度 実 績	計画との差 前年度差	収 入	846.7	813.8	823.7	9.9 △ 23.0	うち 医業 収益	593.4	612.4	627.3	14.9 33.9	支 出	833.2	813.4	805.9	△ 7.5 △ 27.3	うち 医業 費用	645.6	671.2	667.4	△ 3.8 21.8	うち 資本 支出	174.1	126.2	125.6	△ 0.6 △ 48.5	資金収支差 (A)	13.4	0.5	17.9	17.4 4.5	施設整備等 積立金 (B)	—	—	12.9	— —	(A) - (B)	13.4	—	5.0	— △ 8.4
	平成24年度 実 績	平成25年度 計 画	平成25年度 実 績	計画との差 前年度差																																														
収 入	846.7	813.8	823.7	9.9 △ 23.0																																														
うち 医業 収益	593.4	612.4	627.3	14.9 33.9																																														
支 出	833.2	813.4	805.9	△ 7.5 △ 27.3																																														
うち 医業 費用	645.6	671.2	667.4	△ 3.8 21.8																																														
うち 資本 支出	174.1	126.2	125.6	△ 0.6 △ 48.5																																														
資金収支差 (A)	13.4	0.5	17.9	17.4 4.5																																														
施設整備等 積立金 (B)	—	—	12.9	— —																																														
(A) - (B)	13.4	—	5.0	— △ 8.4																																														

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																																																																																														
			<p>経常収支比率（単位：％）</p> <table border="1" data-bbox="801 228 1301 547"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成25年度</th> <th colspan="2">目標差</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>前年度差</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期C</td> <td>110.0</td> <td>105.0</td> <td>109.0</td> <td>4.0</td> <td>△ 1.0</td> </tr> <tr> <td>呼吸器C</td> <td>107.4</td> <td>103.0</td> <td>106.6</td> <td>3.6</td> <td>△ 0.8</td> </tr> <tr> <td>精神C</td> <td>101.9</td> <td>103.0</td> <td>108.7</td> <td>5.7</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>成人病C</td> <td>106.7</td> <td>105.0</td> <td>105.9</td> <td>0.9</td> <td>△ 0.8</td> </tr> <tr> <td>母子C</td> <td>109.6</td> <td>106.0</td> <td>107.9</td> <td>1.9</td> <td>△ 1.7</td> </tr> <tr> <td>法人全体</td> <td>106.9</td> <td>104.0</td> <td>106.4</td> <td>2.4</td> <td>△ 0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>医業収支比率（単位：％）</p> <table border="1" data-bbox="801 576 1301 879"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成25年度</th> <th colspan="2">目標差</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>前年度差</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期C</td> <td>100.8</td> <td>99.0</td> <td>102.2</td> <td>3.2</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>呼吸器C</td> <td>89.6</td> <td>87.0</td> <td>90.6</td> <td>3.6</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>精神C</td> <td>59.7</td> <td>67.0</td> <td>70.8</td> <td>3.8</td> <td>11.1</td> </tr> <tr> <td>成人病C</td> <td>92.1</td> <td>93.0</td> <td>93.4</td> <td>0.4</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>母子C</td> <td>89.7</td> <td>89.0</td> <td>91.3</td> <td>2.3</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>法人全体</td> <td>90.7</td> <td>90.0</td> <td>92.7</td> <td>2.7</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※法人全体は、医業収益／（医業費用＋一般管理費）</p>	病院名	平成24年度	平成25年度	平成25年度	目標差		実績	目標	実績	前年度差		急性期C	110.0	105.0	109.0	4.0	△ 1.0	呼吸器C	107.4	103.0	106.6	3.6	△ 0.8	精神C	101.9	103.0	108.7	5.7	6.8	成人病C	106.7	105.0	105.9	0.9	△ 0.8	母子C	109.6	106.0	107.9	1.9	△ 1.7	法人全体	106.9	104.0	106.4	2.4	△ 0.5	病院名	平成24年度	平成25年度	平成25年度	目標差		実績	目標	実績	前年度差		急性期C	100.8	99.0	102.2	3.2	1.4	呼吸器C	89.6	87.0	90.6	3.6	1.0	精神C	59.7	67.0	70.8	3.8	11.1	成人病C	92.1	93.0	93.4	0.4	1.3	母子C	89.7	89.0	91.3	2.3	1.6	法人全体	90.7	90.0	92.7	2.7	2.0		<p>③ メリットシステムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 各病院の自発的な経営努力を促すシステムとして、各病院の収支計画の達成状況等を踏まえた配分を行う。 平成24年度資金収支差や自己評価を基準に、各病院に医療機器購入予算を配分するメリットシステムを実施し、5病院あわせて約0.9億円を配分した。
病院名	平成24年度	平成25年度	平成25年度		目標差																																																																																														
	実績	目標	実績	前年度差																																																																																															
急性期C	110.0	105.0	109.0	4.0	△ 1.0																																																																																														
呼吸器C	107.4	103.0	106.6	3.6	△ 0.8																																																																																														
精神C	101.9	103.0	108.7	5.7	6.8																																																																																														
成人病C	106.7	105.0	105.9	0.9	△ 0.8																																																																																														
母子C	109.6	106.0	107.9	1.9	△ 1.7																																																																																														
法人全体	106.9	104.0	106.4	2.4	△ 0.5																																																																																														
病院名	平成24年度	平成25年度	平成25年度	目標差																																																																																															
	実績	目標	実績	前年度差																																																																																															
急性期C	100.8	99.0	102.2	3.2	1.4																																																																																														
呼吸器C	89.6	87.0	90.6	3.6	1.0																																																																																														
精神C	59.7	67.0	70.8	3.8	11.1																																																																																														
成人病C	92.1	93.0	93.4	0.4	1.3																																																																																														
母子C	89.7	89.0	91.3	2.3	1.6																																																																																														
法人全体	90.7	90.0	92.7	2.7	2.0																																																																																														

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																																						
	(2) 収入の確保																																										
	① 新患者の確保及び病床の効率的運用	27 報告書頁 60 ～ 63	<p>5病院全体としては、病床利用率については、2病院が前年度実績を上回り、1病院が目標を上回り、新入院患者数については、全病院で前年度実績を上回り、3病院が目標を上回った。</p> <p>【急性期C】 小児科・産婦人科・眼科での新入院患者数が減少したことにより、新入院患者数が下回った。</p> <p>【呼吸器C】 アレルギー内科、感染症内科等の患者数が伸び悩んだが新入院患者数は昨年度より増加した。</p> <p>【精神C】 新病院では個室病床数が増加したことや、男女病床数を変更できる可動式間仕切り壁の導入により新入院患者数が増加した。</p> <p>【成人病C】 戦略的にクリニカルパスの見直しを行い、平均在院日数の短縮化による病床回転率の向上と診療単価増に院内全体で取り組んだ結果、新入院患者数は増加した。</p> <p>【母子C】 地域連携室の機能充実を図り、地域医療機関との連携を強化した結果新入院患者数の増につながった。</p> <p>地域連携の強化などによる新入院患者の確保や診療単価の向上に努め、医業収益は前年度と比較して、33.9億円上回る627.3億円となり、計画値を14.9億円上回った。</p> <table border="1"> <caption>医業収益（億円）</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成25年度</th> <th rowspan="2">目標差 前年度差</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期C</td> <td>224.4</td> <td>229.6</td> <td>240.5</td> <td>10.9 16.1</td> </tr> <tr> <td>呼吸器C</td> <td>77.3</td> <td>76.2</td> <td>77.9</td> <td>1.7 0.6</td> </tr> <tr> <td>精神C</td> <td>28.5</td> <td>35.1</td> <td>35.9</td> <td>0.8 7.4</td> </tr> <tr> <td>成人病C</td> <td>145.2</td> <td>150.9</td> <td>148.6</td> <td>△2.3 3.4</td> </tr> <tr> <td>母子C</td> <td>118.1</td> <td>120.6</td> <td>124.3</td> <td>3.7 6.2</td> </tr> <tr> <td>法人全体</td> <td>593.4</td> <td>612.4</td> <td>627.3</td> <td>14.9 33.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各項目で四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。</p>	病院名	平成24年度	平成25年度	平成25年度	目標差 前年度差	実績	目標	実績	急性期C	224.4	229.6	240.5	10.9 16.1	呼吸器C	77.3	76.2	77.9	1.7 0.6	精神C	28.5	35.1	35.9	0.8 7.4	成人病C	145.2	150.9	148.6	△2.3 3.4	母子C	118.1	120.6	124.3	3.7 6.2	法人全体	593.4	612.4	627.3	14.9 33.9	IV	<ul style="list-style-type: none"> 各病院においては地域医療連携の強化や院内施設の活用により新入院患者数の増加に努めた。また、新規施設基準の取得が患者一人当たり診療単価の増加につながり、その結果全病院において医業収益が前年度実績を上回った。 法人全体でも、目標値を14.9億円、前年度実績を33.9億円上回る627.3億円の医業収益を計上した。 各病院における患者確保の取組みや診療単価の向上のための取組みが医業収益の増加につながったことを高く評価し、IV評価とした。
病院名	平成24年度	平成25年度	平成25年度		目標差 前年度差																																						
	実績	目標	実績																																								
急性期C	224.4	229.6	240.5	10.9 16.1																																							
呼吸器C	77.3	76.2	77.9	1.7 0.6																																							
精神C	28.5	35.1	35.9	0.8 7.4																																							
成人病C	145.2	150.9	148.6	△2.3 3.4																																							
母子C	118.1	120.6	124.3	3.7 6.2																																							
法人全体	593.4	612.4	627.3	14.9 33.9																																							
	② 診療単価の向上		<p>新たな施設基準の届け出</p> <p>【急性期C】 ハイケアユニット入院医療管理料 など</p> <p>【呼吸器C】 患者サポート体制充実加算 など</p> <p>【成人病C】 ハイケアユニット入院医療管理料など</p> <p>患者一人当たり平均入院診療単価</p> <p>【急性期C】 67,106円（前年度 62,305円）</p> <p>【呼吸器C】 39,397円（前年度 38,498円）</p> <p>【精神C】 20,376円（前年度 17,319円）</p> <p>【成人病C】 61,029円（前年度 56,671円）</p> <p>【母子C】 81,281円（前年度 79,227円）</p>																																								

	平成25年度計画	番号	業績実績・確認事項等	評価	判断理由																																										
	③ 未収金対策、資産の活用 <ul style="list-style-type: none"> 滞納未収金について、請求書再発送や電話督促を行うとともに、弁護士による催告や弁護士法人への債権回収委託を行う。 各病院における土地、建物等については、原則公募により食堂、売店等への貸付けを行い、財産を効率的、効果的に活用する。 	28 報告書頁63	<ul style="list-style-type: none"> 患者未収金発生未然防止策として、各病院においては、クレジットカード等による支払いの導入や、入院時の概算費用の提示、高額療養費制度等の説明などを実施した。未収金が発生した患者に対しては個別対応や、長期間に渡る未納者については、弁護士法人への回収委託、簡易裁判所の督促制度も活用し対応した。 急性期・総合医療センターにおけるサラダ等販売店舗の誘致や、呼吸器・アレルギー医療センターにおける自動販売機の更新における公募などを実施し、固定資産の有効活用を図った。 	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、未収金発生を未然に防ぐ様々な取組みの実施など、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。 																																										
	(3) 費用の抑制																																														
	① 給与費の適正化 <ul style="list-style-type: none"> 患者ニーズや診療報酬改定状況、費用対効果等を踏まえ、職員配置の増減を柔軟に行う。 職種による需給関係や給与費比率を勘案しながら、給与の適正化に努める。 	29 報告書頁64	<ul style="list-style-type: none"> 患者の需要見込や職員の確保見込み、医療安全の観点、費用対効果等を踏まえ、平成25年度医師・歯科医師で14人増、看護師75人増など、医療を提供する組織体制を強化した。 職員給与費比率については、医業収益が前年度比5.7%増収となるなか、2.4%の減となり、職員給与費比率は低下した。 <p>職員給与費比率(単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成25年度目標</th> <th>平成25年度実績</th> <th>目標差</th> <th>前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期C</td> <td>49.5</td> <td>52.0</td> <td>47.9</td> <td>△ 4.1</td> <td>△ 1.6</td> </tr> <tr> <td>呼吸器C</td> <td>63.9</td> <td>66.0</td> <td>62.9</td> <td>△ 3.1</td> <td>△ 1.0</td> </tr> <tr> <td>精神C</td> <td>129.2</td> <td>110.0</td> <td>104.8</td> <td>△ 5.2</td> <td>△ 24.4</td> </tr> <tr> <td>成人病C</td> <td>53.8</td> <td>52.0</td> <td>51.6</td> <td>△ 0.4</td> <td>△ 2.2</td> </tr> <tr> <td>母子C</td> <td>60.5</td> <td>61.0</td> <td>58.7</td> <td>△ 2.3</td> <td>△ 1.8</td> </tr> <tr> <td>法人全体</td> <td>59.3</td> <td>60.0</td> <td>56.9</td> <td>△ 3.1</td> <td>△ 2.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>*職員給与費比率(%) = 職員給与費 ÷ 医業収益 × 100</p>	病院名	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差	前年度差	急性期C	49.5	52.0	47.9	△ 4.1	△ 1.6	呼吸器C	63.9	66.0	62.9	△ 3.1	△ 1.0	精神C	129.2	110.0	104.8	△ 5.2	△ 24.4	成人病C	53.8	52.0	51.6	△ 0.4	△ 2.2	母子C	60.5	61.0	58.7	△ 2.3	△ 1.8	法人全体	59.3	60.0	56.9	△ 3.1	△ 2.4	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、患者の需要見込や職員の確保見込み、医療安全の観点、費用対効果等を踏まえた医療スタッフの配置を行い、適正な給与水準とするよう機構全体で努め、年度計画の項目を着実に達成したことについて、Ⅲ評価とした。
病院名	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差	前年度差																																										
急性期C	49.5	52.0	47.9	△ 4.1	△ 1.6																																										
呼吸器C	63.9	66.0	62.9	△ 3.1	△ 1.0																																										
精神C	129.2	110.0	104.8	△ 5.2	△ 24.4																																										
成人病C	53.8	52.0	51.6	△ 0.4	△ 2.2																																										
母子C	60.5	61.0	58.7	△ 2.3	△ 1.8																																										
法人全体	59.3	60.0	56.9	△ 3.1	△ 2.4																																										
	② 材料費の縮減 <ul style="list-style-type: none"> SPD業務について、材料費削減目標の達成状況及び業務履行状況について検証する。 後発医薬品の採用の促進に努め、医薬品購入経費の節減を図る。 	30 報告書頁65	<ul style="list-style-type: none"> SPDによる価格交渉の結果、医薬品、検査試薬、診療材料の購入額は、前年度単価購入と比較して、5病院全体で約277百万円削減した。 <p>材料費比率(単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成24年度実績</th> <th>平成25年度目標</th> <th>平成25年度実績</th> <th>目標差</th> <th>前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期C</td> <td>30.4</td> <td>31.0</td> <td>31.1</td> <td>0.1</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>呼吸器C</td> <td>21.9</td> <td>22.0</td> <td>22.2</td> <td>0.2</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>精神C</td> <td>11.7</td> <td>8.0</td> <td>7.1</td> <td>△ 0.9</td> <td>△ 4.6</td> </tr> <tr> <td>成人病C</td> <td>33.1</td> <td>33.0</td> <td>33.0</td> <td>0.0</td> <td>△ 0.1</td> </tr> <tr> <td>母子C</td> <td>28.4</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> <td>0.0</td> <td>△ 0.4</td> </tr> <tr> <td>法人全体</td> <td>28.7</td> <td>28.0</td> <td>28.5</td> <td>0.5</td> <td>△ 0.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※材料費比率(%) = 材料費 ÷ 医業収益 × 100</p> <ul style="list-style-type: none"> 後発医薬品の採用の取組み状況について経営会議や薬局長会議の場で情報交換するまで法人全体で情報の共有化を図った。 	病院名	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差	前年度差	急性期C	30.4	31.0	31.1	0.1	0.7	呼吸器C	21.9	22.0	22.2	0.2	0.3	精神C	11.7	8.0	7.1	△ 0.9	△ 4.6	成人病C	33.1	33.0	33.0	0.0	△ 0.1	母子C	28.4	28.0	28.0	0.0	△ 0.4	法人全体	28.7	28.0	28.5	0.5	△ 0.2	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のとおり、材料費の縮減のための取組みについて、年度計画の項目を達成したことについて、Ⅲ評価とした。
病院名	平成24年度実績	平成25年度目標	平成25年度実績	目標差	前年度差																																										
急性期C	30.4	31.0	31.1	0.1	0.7																																										
呼吸器C	21.9	22.0	22.2	0.2	0.3																																										
精神C	11.7	8.0	7.1	△ 0.9	△ 4.6																																										
成人病C	33.1	33.0	33.0	0.0	△ 0.1																																										
母子C	28.4	28.0	28.0	0.0	△ 0.4																																										
法人全体	28.7	28.0	28.5	0.5	△ 0.2																																										

	平成25年度計画	番号	業務実績・確認事項等	評価	判断理由																																																	
③	経費の節減 ・ E S C O事業により、引き続き光熱水費の削減を図る。 ・ 入札・契約については、透明性・競争性・公平性の確保を図るため、原則、一般競争入札を実施する。	31 報告書頁 66	E S C O事業による光熱水費削減額（単位：百万円） <table border="1" data-bbox="786 244 1227 443"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成25年度</th> <th>目標差</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標額</th> <th>実績</th> <th>前年度差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性期C</td> <td>113</td> <td>100</td> <td>98</td> <td>△ 2</td> </tr> <tr> <td>呼吸器C</td> <td>178</td> <td>128</td> <td>192</td> <td>△ 15</td> </tr> <tr> <td>母子C</td> <td>121</td> <td>76</td> <td>121</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>法人全体</td> <td>412</td> <td>304</td> <td>411</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>45</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>107</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>△ 1</td> </tr> </tbody> </table> ・ 契約事務について、一般競争入札を原則として契約相手方を選定し、入札結果概要について各病院のHPで公表した。	病院名	平成24年度	平成25年度	平成25年度	目標差	実績	目標額	実績	前年度差	急性期C	113	100	98	△ 2	呼吸器C	178	128	192	△ 15	母子C	121	76	121	64	法人全体	412	304	411	14					45					0					107					△ 1	Ⅲ	・ 実績報告書のとおり、経費節減のための取組について、年度計画の項目を達成したことについて、Ⅲ評価とした。
病院名	平成24年度	平成25年度	平成25年度		目標差																																																	
	実績	目標額	実績	前年度差																																																		
急性期C	113	100	98	△ 2																																																		
呼吸器C	178	128	192	△ 15																																																		
母子C	121	76	121	64																																																		
法人全体	412	304	411	14																																																		
				45																																																		
				0																																																		
				107																																																		
				△ 1																																																		